

事業所名		こばんはうすさくら 新潟中央教室				支援プログラム		作成日		2025 年		12 月		11 日	
法人（事業所）理念		すべての答えは児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう。													
支援方針		・発達や障がいの特性に応じ、様々な遊びや多様な体験活動の機会を提供し、自尊心や主体性を育て、発達上のニーズに合わせた育ちの充実を図ります。 ・自分らしくいられる場所となり、生きる力・表現できる力が育つ支援をしています。 ・社会性の向上をはかります。 ・ご家族の意向を受け止め、きょうだいを含めた家族を支援していくことを通じて暮らしや育ちを支えます。													
営業時間		10 時 0 分から 17 時 0 分まで				送迎実施の有無		あり なし							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善：来室時の検温・体調確認、アセスメントの際、体調不良のサイン、服薬、アレルギー等保護者様へ聞き取りの実施。 ・基本的生活習慣のスキル獲得：専門職（理学療法士・言語聴覚士・保育士等）による食事サポート、トイレトレーニングの提案・実施。スケジュールボード等の環境設定・調整。 ・生活習慣・生活リズムの形成：空間や時間の構造化やスモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちをはかる。													
	運動・感覚	・姿勢保持と運動・動作の基本的技術の向上：集団プログラムの中で粗大運動（サーキットや運動道具を使う遊び）や微細運動（感触遊び・玩具遊び）を通し、「やってみたい」「できる」全身運動や感覚統合の向上をはかる。 ・感覚特性、保有する感覚の活用：過敏や鈍麻のあるお子様に対し、個別での対応や道具提示を実施。音楽、感触遊び等様々な感覚の刺激を受けられる遊び、活動をおこなう。													
	認知・行動	・【注意を向けること】【操作すること】【協調すること】を生活や遊びの中で積み重ね、行動やことばの基礎となる認知機能を育む。 ・行動の背景をご家族と支援者が一緒に考え、ご本人にとって心地よい環境や過ごし方につなげる支援（個別・小集団活動）の実施。													
	言語コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上：コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を具体的な支援の実施。（絵カードの活用・ジェスチャーの取得） ・集団場面において人とコミュニケーションを経験し、個別的課題には専門的側面（言語聴覚士の助言等）から支援することを目指す。													
	人間関係社会性	・アタッチメント（愛着）の形成と安定：安心できる場所となるよう、環境を整え、ご本人の思いに寄り添い大人との信頼関係の構築をはかる。 ・遊びを通じた社会性の促進：安定した環境の中で玩具の貸し借りや、順番、ルールのある活動や遊びを実施。自己や他者を理解し、向き合うことに寄り添いながら、相互が心地よく過ごせる関係を目指す。													
家族支援		・保護者への個別相談や情報提供（サービス提供記録閲覧・必要に応じ、電話連絡） ・懇談会（職員・保護者同士の交流） ・きょうだいを含む家族からの相談に対する支援 ・家族（きょうだい）を含む参加型のイベント ・障害や発達の特性に配慮した家庭環境の助言・整備				移行支援		・小学校、保育所等への移行支援 ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援 ・保育所等の併行利用先との連携 ・地域における仲間づくりへの支援							
地域支援・地域連携		・保健・医療・福祉・教育等の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携 ・自立支援協議会への参加				職員の質の向上		・事業所内での研修・訓練の実施（ケース検討・感染予防・安全対策・事故防止・虐待防止・身体拘束防止等） ・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 ・強度行動障害支援者養成研修の受講							
主な行事（イベント）等		【事業所全体】：夏祭り・ハロウィンパーティー・お楽しみ会・進級・進学を祝う会・避難訓練（地震・火災・風水害・不審者対応） 【児童発達支援】：外出イベント（水族館・お買い物・外食）ミニ運動会・お店屋さんごっこ・クッキング・懇談会 等【月1回程度】 【放課後等デイサービス】：外出イベント（水族館・お買い物・外食）・公共交通機関利用（バス・電車）のお出かけ・クッキング 実験 等【月1回以上】													

事業所名		こぼんはうすくら 新潟中央教室				支援プログラム		作成日		2025 年		12 月		11 日	
法人（事業所）理念		すべての答えは児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう。													
支援方針		・発達や障がいの特性に応じ、様々な遊びや多様な体験活動の機会を提供し、自尊心や主体性を育て、発達上のニーズに合わせた育ちの充実を図ります。 ・自分らしくいられる場所となり、生きる力・表現できる力が育つ支援をしていきます。 ・社会性の向上をはかります。 ・ご家族の意向を受け止め、きょうだいを含めた家族を支援していくことを通じて暮らしや育ちを支えます。													
営業時間		10 時 0 分から 17 時 0 分まで				送迎実施の有無		あり		なし					
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善：来室時の検温・体調確認、アセスメントの際、体調不良のサイン、服薬、アレルギー等保護者様へ聞き取りの実施。 ・基本的生活習慣のスキル獲得：専門職（理学療法士・言語聴覚士・保育士等）による食事サポート、トイレトレーニングの提案・実施。スケジュールボード等の環境設定・調整。 ・生活習慣・生活リズムの形成：空間や時間の構造化やスモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちをはかる。													
	運動・感覚	・姿勢保持と運動・動作の基本的技術の向上：集団プログラムの中で粗大運動（サーキットや運動遊具を使う遊び）や微細運動（感触遊び・玩具遊び）を通し、「やっみたい」「できる」全身運動や感覚統合の向上をはかる。 ・感覚特性、保有する感覚の活用：過敏や鈍麻のあるお子様に対し、個別での対応や遊具提示を実施。音楽、感触遊び等様々な感覚の刺激を受けられる遊び、活動をおこなう。													
	認知・行動	・【注意を向けること】【操作すること】【協調すること】を生活や遊びの中で積み重ね、行動やことばの基礎となる認知機能を育む。 ・行動の背景をご家族と支援者が一緒に考え、ご本人にとって心地よい環境や過ごし方につなげる支援（個別・小集団活動）の実施。													
	言語コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上：コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を具体的な支援の実施。（絵カードの活用・ジェスチャーの取得） ・集団場面において人とコミュニケーションを経験し、個別的課題には専門的側面（言語聴覚士の助言等）から支援することを目指す。													
	人間関係社会性	・アタッチメント（愛着）の形成と安定：安心できる場所となるよう、環境を整え、ご本人の思いに寄り添い大人との信頼関係の構築をはかる。 ・遊びを通じた社会性の促進：安定した環境の中で玩具の貸し借りや、順番、ルールのある活動や遊びを実施。自己や他者を理解し、向き合うことに寄り添いながら、相互が心地よく過ごせる関係を目指す。													
家族支援		・保護者への個別相談や情報提供（サービス提供記録閲覧・必要に応じ、電話連絡） ・懇談会（職員・保護者同士の交流） ・きょうだいを含む家族からの相談に対する支援 ・家族（きょうだい）を含む参加型のイベント ・障害や発達の特性に配慮した家庭環境の助言・整備						移行支援		・小学校、保育所等への移行支援 ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援 ・保育所等の併行利用先との連携 ・地域における仲間づくりへの支援					
地域支援・地域連携		・保健・医療・福祉・教育等の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携 ・自立支援協議会への参加						職員の質の向上		・事業所内での研修・訓練の実施（ケース検討・感染予防・安全対策・事故防止・虐待防止・身体拘束防止等） ・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 ・強度行動障害支援者養成研修の受講					
主な行事（イベント）等		【事業所全体】：夏祭り・ハロウィンパーティー・お楽しみ会・進級・進学を祝う会・避難訓練（地震・火災・風水害・不審者対応） 【児童発達支援】：外出イベント（水族館・お買い物・外食）ミニ運動会・お店屋さんごっこ・クッキング・懇談会 等【月1回程度】 【放課後等デイサービス】：外出イベント（水族館・お買い物・外食）・公共交通機関利用（バス・電車）のお出かけ・クッキング 実験 等【月1回以上】													